

# 令和8年度 A I 関連予算について (案)

令和8年度予算案額：5,027億円

令和7年度予算額：1,969億円 ※基金の積み増し分含む

「A I 法」(令和7年5月成立、9月全面施行)及び「人工知能基本計画」(令和7年12月閣議決定)を踏まえ、A I イノベーションの促進及びリスク対応の両立に向けて、A I 関連施策を総合的・計画的に推進。

## 1. A I 利活用の抜本的な推進「A I を使う」 438億円

### 社会課題解決のための A I 利活用の推進

- ・ A I 等を用いた地震活動・地震動評価技術の高度化 (文：約2億円)
- ・ A I 等を用いた次世代コンテナターミナル構築の推進 (国：約7億円)
- ・ ハローワークサービスの充実に向けた A I 活用の実証 (厚：約8億円)
- ・ A I を活用した意思決定迅速化に関する研究 (防：約38億円)
- ・ スマート農業推進のためのデータ活用の促進 (農：約2億円)
- ・ A I を活用した建設現場の生産性向上の推進 (国：約2億円)
- ・ A I を活用した無人戦闘車両システムの研究 (防：約68億円)
- ・ UAV連携型 A I 駆動オフロードUGVの研究 [新] (防：約2億円) ほか

※その他、金額の特定はできないが、産業財産権制度運営の高度化 (経) や介護テクノロジー導入等に対する支援 (厚)、サイバー対処能力確保のための研究開発等 [新] (総) などの施策も実施

## 2. A I 開発力の戦略的強化「A I を創る」 4,559億円

### A I モデル等の開発推進

- ・ 革新的な A I 基盤技術の研究開発の推進 (文：約122億円)
- ・ A I を用いたファインセラミックスの製造プロセスの開発等 (経：約10億円)
- ・ 創薬ターゲット予測・シーズ探索 A I の開発等 (厚：約5億円) ほか
- ・ 科学研究向け A I 基盤モデルの開発・共用 (文：約25億円)
- ・ A I を活用したプログラム医療機器開発や医療従事者の負担軽減に繋げる A I 技術の開発支援 (厚：約6億円)

### A I 基盤モデル等開発

- ・ A I ロボット・フィジカル A I を見据えたマルチモーダル基盤モデルの開発 [新] (経：3,873億円) ほか

### A I 研究開発・利用基盤の増強・確保

- ・ 次世代情報通信基盤 Beyond 5G の研究開発等の推進 (総：115億円)
- ・ 省エネ A I 半導体及びシステムに関する技術開発事業 (経：30億円)
- ・ 革新的ハイパフォーマンス・コンピューティング・インフラ (HPCI) の構築 (文：約177億円) ほか
- ・ 革新的な ICT の研究開発の推進等 (文：約20億円)

## 3. A I ガバナンスの主導「A I の信頼性を高める」 11億円

### 信頼できる A I エコシステムの構築

- ・ A I 法に基づく調査研究等の実施 [新] (内：約1億円)
- ・ 生成 A I モデルの透明性・信頼性確保に向けた研究開発 (文：約8億円) ほか

## 4. A I 社会に向けた継続的な変革「A I と協働する」 19億円

### A I 人材の育成・確保

- ・ デジタルスキル標準の改訂、D X 人材育成のためのプラットフォームの運営等 (経：約8億円)
- ・ 専修学校における A I 活用等のニーズに応えるリ・スキリングの推進等 [新] (文：約7億円) ほか

※その他、金額の特定はできないが、A I を含むデジタル分野の人材育成において離職者向けの職業訓練・企業向けの人材開発支援助成・離職者及び在職者向けの教育訓練支援 (厚) などの施策も実施

(注1) A I 基本計画の4方針に関連する主な施策を記載。複数の方針に関係する場合は、最も関係が深い方針に分類。(注2) 事業費の一部等、A I 関連予算額を抽出困難な施策は、予算総額に含まず。(注3) 個々の事業の予算は四捨五入した額を記載。